

デュアルセンサーブレーキサポート

- デュアルセンサーブレーキサポートは走行時において、単眼カメラとレーザーレーダーが前方の車両または歩行者を検知し、「前方衝突警報機能」、「前方衝突被害軽減ブレーキアシスト機能」、「自動ブレーキ機能」によるサポートを行なうことで、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図る機能です。作動時の速度が約5 km/h～約50 km/h 未満（対象が歩行者の場合は約5 km/h～約30 km/h 未満）であれば、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に自動ブレーキが作動する場合があります。
- デュアルセンサーブレーキサポートは運転者による安全運転をサポートし、衝突を回避したり衝突時の被害を軽減したりすることを目的としていますが、その検知・制御性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- デュアルセンサーブレーキサポートは運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または被害を軽減できない場合や作動しない場合があります。
- 詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。

車線逸脱警報機能

- 車線逸脱警報機能はカメラが左右の区画線を検知して進路を予測し、速度が約 60km/h～約 100km/h で走行中に車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によって運転者に注意を促します。
- 車線逸脱警報機能は運転者による安全運転をサポートし、車線のはみ出しを予防することを目的としていますが、その検知性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- 車線逸脱警報機能は運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、作動しない場合があります。
- 詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。

誤発進抑制機能

- 誤発進抑制機能は駐車場などで、前方に壁などがあるにも拘らず、停車または徐行中（約 10km/h）にアクセルペダルを強く踏むと、最長約 5 秒間、エンジン出力を自動的に抑制し、急発進・急加速を抑えて、踏み間違いなどによる衝突回避に貢献します。
- 誤発進抑制機能はブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。
- 誤発進抑制機能は運転者による安全運転をサポートし、踏み間違いによる衝突時の被害を軽減することを目的としていますが、その検知・制御性能には限界があります。これらに頼った運転はせず、常に安全運転に努めてください。
- 誤発進抑制機能は運転状況、対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突被害を軽減できない場合や作動しない場合があります。
- 詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。

ハイビームアシスト

- ハイビームアシストは、レーザーレーダーと単眼カメラのセンサーを使用することにより、先行車のライト、街路灯の明るさなど車両前方の状況を判断しヘッドライトの上向き（ハイビーム）、下向き（ロービーム）を自動的に切替える機能です。約 30km/h 以上で走行時、前方に先行車や対向車がない時はヘッドライトが自動的に上向きに切り替わります。
- レーザーレーダーと単眼カメラが前方車両や光源を認識できず、ハイビームアシスト機能が正しく作動しない場合があります。必要に応じて手動でハイビームとロービームに切替えてください。
- ハイビームアシストのシステムを過信せず常に周囲の状況を把握して注意を払い、安全運転に努めてください。
- 詳しくはホームページをご確認いただくか、販売会社にお問い合わせください。